

直前一橋大英語総合演習

【2 回目】



## 問題

### 【1】

#### ポイント

和訳問題では文構造を正しく把握すること，内容説明問題では説明すべきポイントを押さえて本文の該当箇所をまとめることがそれぞれ大切である。また，英訳問題では本文の中にある表現を手がかりにしながら書くとよい。先に問題の日本語を読んでおき，それに使える表現を見つけることを念頭に置いて本文を読むのも手である。

#### 解答

- (1) 「全訳」の下線部㉑参照。
- (2) 「全訳」の下線部㉒参照。
- (3) 「全訳」の下線部㉓参照。
- (4) b
- (5) The study of ecology, including the response to global environmental problems, is carried out not merely through the cooperation among various academic fields but also through the partnership among research institutes both at home and abroad.

**別解** The study of ecosystems, including the response to environmental problems on a global scale, is undertaken not only through the cooperation between many different academic fields but also through the cooperation of research institutes at home and abroad.

- (6) 人間の行動と思考に関するあらゆる面にふれようとし，個々の文化の食や食生活について研究したり，特定の食とそれを食べる習慣的作法を分析したり，その変化を重要な社会的心理学的変化と関連させたりするなどさまざまな方法で進められている。

(113字)

#### 解説

- (1) 〈At home or abroad〉 colorful food markets are taken

S
V

to represent something 〈essential and real about culture and society〉

↑  
that  
 S'

↑  
becomes  
 V'

↓  
masked or artificial  
 C'

in supermarkets}.

- At home or abroad: A or B の形で「AでもBでも」という‘譲歩’の意味を表す。  
この at home は後の abroad と対比的に用いられているので，「国内で」の意になる。
- ～ are taken to …: 「～を取り上げる」の意の take が受け身で用いられており，後に続いている to 不定詞は‘目的’を表す副詞的用法である。
- something ～ that …: essential and real about culture and society が something を後置修飾し，さらに that 以下の関係代名詞節が修飾している。
- masked *adj.* 「覆い隠された」

○ artificial *adj.* 「人工的な」

(2) The production of food is

S V

so fundamentally integrated with labor systems and property arrangements  
and

so clearly tied to available technology

{that diet is often taken <to be a measure of economic development>}

○ ‘程度・結果’を表す so ~ that … の構文が用いられており、2つの so ~ (= so fundamentally … arrangements と so clearly … technology) が and で結ばれている。

○ be integrated with ~ 「～と結び付いている」。ここでは‘～’の部分が labor systems (労働システム) と property arrangements (富の配置) の2つになっている。

○ be tied to ~ 「～に関係している [依存している]」

○ diet is often taken to be ~ : この diet は「食; 常食; 食習慣」の意。また、ここでは take A to be B (A を B だと思ふ [みなす]) が受け身で用いられている。

○ measure *n.* 「尺度; 基準」

(3) Historians find <in food's ties to economics, ~ and religion>

S V

particularly satisfying evidence of

O

{how ordinary, daily activities are related to larger historical trends}

○ Historians が主語、find が述語動詞、evidence が目的語の第3文型の文である。

○ food's ties to ~ : tie to ~ で「～との結び付き」の意。ここでは、food (食べ物) と economics (経済学), technology (技術), commerce (商業), religion (宗教) の4つとの結び付きということである。

○ evidence of ~ 「～の証拠」。how 節が of の目的語で、how (どのように) 以下は、ordinary, daily activities が主部、are related to ~ historical trends が述部で、「どのようにSがVするか」という構造になっている。

○ be related to ~ 「～と関係している」

(4) 下線部を含む部分の構造は以下のようにになっている。

<in every society> folk histories accompany particular dishes and,

S V<sub>1</sub> O<sub>1</sub>

<like folk etymologies>,

associate the local and familiar with famous figures, great events, and ~

V<sub>2</sub> O<sub>2</sub>

したがって、この部分は「あらゆる社会において、民衆の歴史には特定の料理が伴い、民衆起源論のように、the local and familiar を有名な人物や大きな出来事や～に結び付けている」という意味になる。and によって accompany particular dishes と associate ~ points が並んでいることと、民衆史では地元の、なじみ深い「何」が、有

- 名人や大きな出来事などと結び付いているのかを考えると、bの「地元の、なじみのある料理」が正解となる。他の選択肢の意味は次の通り。a「地元の、なじみのある学者」c「地元の、なじみのある語源」d「地元のなじみのある人々」e「地域性と親しさ」
- (5) 「生態系の研究は、AだけでなくBによっても遂行される」が文の基本構造となる。「AだけでなくB(も)」は not only [merely ; simply ; just ; alone] ~ but (also) ... で表す。
- 「生態系の研究」: 「生態系」は ecology か ecosystems, 「研究」は study の他, research ; research work など。
  - 「地球規模の環境問題への対応を含めて」「地球規模の環境問題」は global environmental problems や environmental problems on a global scale など。問題は1つではないので複数形にする。「~への対応」は the response to ~。「含めて」には「~を(中味の一部として)含む」の意の include を用いるのが適切。ここでは分詞構文にしてS Vの間に入れるとよい。
  - 「さまざまな研究分野」 various academic fields や many different academic fields など。
  - 「~の連携によって」は through cooperation among [between] ~ など。この「~によって」には through を用いるのが適切。between は「二者の間」の意味だが、複数のものの中の2つの関係に焦点を当てての表現とすれば、ここでも使える。
  - 「国内外の研究機関」は research institutes (both) at home and abroad。
- (6) 設問中の「食と食習慣に関する現在の歴史研究」(= Current historical scholarship on food and diet) については、第4段落最終文で示されている。さらに次の第5段落第1文の That scholarship はこれを指し、第2文、第3文がその具体的事例を挙げているので、この部分を制限字数内でまとめる。第4段落最終文の「(食と食習慣に関する現在の歴史研究は)人間の行動と思考に関するあらゆる面にふれようとしている」ことが1つ目のポイント、第5段落第1文で示されている「研究の進め方にはさまざまなものがある」ことが2つ目のポイントである。さらにその具体例として、第2文で「個々の文化の食や食生活についての研究」、第3文セミコロン前までの前半で「特定の食と、それを食べる習慣的作法の分析」、セミコロン以降後半で「その変化を重要な社会的心理学的変化と関連させる研究」を挙げる。

#### 全訳

社会分析という抽象概念の中を進んでいくことができなかつたり、歴史の細かいことなどが退屈だつたりする読者でも、他の時代や文化の食や食習慣についてならば熱心に読むだろう。この魅力については多くの理由がある。他の社会についての説明は、それらが空腹や食べることの共通体験について論じ、個人的な記憶や、なじみのある食に対する感傷的な連想や、なじみのない食べ物に対する喜びや嫌悪感のショックを必然的に引き起こす時に、より身近で具体的なものに思われる。旅行ガイドも小説も映画も皆、社会的距離を測り、貧しいのか豊かなのかをすぐにわかるように食を利用する。④国内でも海外でも、彩り鮮やかな食市場が、スーパーマーケットでは覆い隠されたり人工的なものになってしまう、文化と社会について本質的で現実的なものを表現するのに取り上げられる。

したがって、食の普遍性は、文化の相違と歴史的変化の指標としてとても大きな可能性を秘めている。すべての社会が、食を作り、分配しなければならない。そのやり方が社会自体を定義する。すべての社会が食を用意して食べることにに関して精緻な決まり事、すなわち、内部の構造と緊張状態を明らかにする決まり事を作り上げる。そして、おそらく、祭りや休日、家族の行事のために特別な料理がないほど貧しい地域はなかった。必要性や味、社会的特徴、機会、価値観が食卓ですべて交差し、誰がどこに座るのか、何を皿の上に出すのか、(もしいるならば)誰が料理を用意し、誰がそれを給仕するのかを決める。大規模な公の席では、接客の順番がこうしたことを公に表す。しかし、食は、毎日の反復で社会指標としてさらに強力に作用する。西洋社会では、家庭で普通キャビアを食べるのかホットドッグを食べるのか、トリュフか冷凍食品の夕食か、立って食べるのか腰掛けて食べるのか、簡易台所で食べるのかシャンデリアの下で食べるのか、といったことの社会的意味を誰もが理解している。他の標識が同様に明らかな社会もある。

⑥食の生産は、労働システムと富の配置とに根本的に結び付き、利用可能な技術と明確に  
関係しているので、食は経済発展の尺度としてみなされることが多い (そして、飢餓の排除から動脈硬化や肥満にまで及ぶ効果を持つ)。科学の進歩によって人々の食べるものが影響を受けてきただけでなく、食が公共政策の対象にもなってきた。そして、ビタミンで食の栄養価を高めることは、社会管理において最もうまくいった有益な取り組みの1つであるかもしれない。もちろん、食と環境との関係や、食と社会組織との関係は、農業や食品保存や輸送のシステムとともに変化し、栄養や植物遺伝学、生物学的必要の原則に関する新しい知識によっても変更される。しかしながら、食は富と知識によるだけにとどまらない。また、専門家は、文化的な嗜好を発展レベルの科学的経済的指標と誤ることが時々あった。母乳を奨励しなくなったことや朝食をたくさん食べるのを好むこと、牛乳や肉の高消費を、普遍的な進歩の印と見誤ったのである。

⑦歴史家は、どのように普通の日常活動がより大きな歴史的動向と関連するのかについて  
の特に満足のいく証拠を、経済学や技術、商業、宗教と食との結び付きの中に見出す。中世盛期まで、ヨーロッパ人は、少なくとも公式の場では、食事の時はもたれかかっていた。2人の一流の食史家が指摘しているように、きちんと着席した位置へと変わることによって、左手が解放され、ナイフの利用が促され、それによって、ペストの流行に続いて14世紀に行われるようになったフォーク使用への道が切り開かれた。食事のマナーの変化は、社交上の間柄や家具、富、技術における変化と結び付いた。彼らが付け加えていることによると、食と食習慣に関する現在の歴史研究が「人間の行動と思考に関するあらゆる面にふれ」ようとしているのである。

その研究は多くの異なった方法で進展できる。1つの文化における食の素晴らしい研究がある。特定の食とそれを食べる習慣的作法は美的感覚コード(情報表現の記号体系)、文化的コード、記号論的コードとして効果的に分析されてきた。そして食の変化は、重要な社会的心理学的変化と関連することがあり、その変化とは、新しい概念、すなわち、人は食べ方の違いによって異なるものになるという考えは、最初にタバコや紅茶、砂糖など帝国主義を助長するものであり、その産物でもあるものとともに出てきたとシドニー・ミンツが主張する時に示唆しているものである。興味深いことに、食を歴史的に重要なものにしたいという

衝動は学者の傾向であるだけではない。あらゆる社会において、民衆の歴史には特定の料理が伴っていて、民衆起源論のように、地元でなじみのある食事を有名な人物や大きな出来事、歴史的な転機と結び付けている。文学と芸術において食に関心が払われることで、すべての文化は食への対処の仕方でも明らかになるという印象が高まる。そして、食が重要であるとの意識は、おそらく精神の深いところから、とても簡単に出てくるので、料理法が証拠であるとの主張は多少疑ってかからなければならない。例えば、現代の国家は、自らの領域の料理が古代からの所産であることと、その特殊性を強調する傾向にある。特に、他の理由から地域差が重要に思われる時代においてはそうである。しかしながら、実際には、地域的独自性のある場所へある料理を広めることは、かなり現代になってからで、国の創設と国の料理法の設立に先んじるより、それに続くものであることが多い。

収穫儀礼や地域の祝賀行事、宗教や家族の祝宴は、すべて食を用いて、社会的な結び付きに充実感や幸福感を吹き込む。その結果、食は集団の成員である資格を定義して強化し、同化の過程を明らかにする道具を提供する。移住は、しばしば食を探し求めることでもあるが、特別な食をもたらしもした。そして、料理法は、自らの特殊性を維持し、独自性の強力な象徴のままでいながら、広まり、変化し、他の料理法の要素を吸収する能力を持っているが、その能力から学ぶべきことはたくさんある。食は入り混じることには慣れている。

女性の家庭内の役割と強く結び付き、家庭で料理を準備して給仕することが愛情の絆をもたらす、男性には権威が、女性には権力があることを示すことになる。したがって、こうしたことの意味が、パック食品の普及とレストラン（そこは、パック食品を生産して分配する会社の重役のように、プロのシェフが男性の場合が多いのだが）で食事をする習慣によって浸食されるかもしれないというのが現代の懸念なのである。

これらのすべての点で、食の研究は、政治的社会的変化の過程がどれほど深く社会に達する影響を及ぼすことができるかを示すが、そうしなければ私たちが気づかない歴史的過程を明らかにすることはめったにない。現代の料理法に関する論評が、多くは政治や市場化、生態系、文化的衰退への論評でもあることは疑いない。食の歴史に関する書物をとても魅力的で楽しいものにする特色の1つは、ある時代の日常生活に関する特異で興味深い詳細を、壮大な（そして十分になじみ深い）歴史的物語の中に位置付けることである。ありふれた話題に関する、そうしたなじみのない情報は、その重要性よりも大きな影響を持つことがよくあり、食についての歴史的伝承は、実際には値しないかもしれない、意味があり博識であるとの雰囲気を容易に醸し出す場合がある。

注

ℓ. 1 ◇ *wade through* ~ 「～を苦勞して進む〔やり通す；かき分けていく〕」

◇ *abstraction* *n.* 「抽象概念」

ℓ. 5 ◇ *invoke* ~ *vt.* 「～を引き起こす」

ℓ. 6 ◇ *revulsion* *n.* 「反感；憎惡」

ℓ. 8 ◇ *penury* *n.* 「貧乏；貧窮」

◇ *plentitude* *n.* 「豊かさ」

ℓ. 13 ◇ *elaborate* *adj.* 「精緻な」

ℓ. 17 ◇ *intersect* *vi.* 「交わる」

- ◇ dictate ～ *vt.* 「～を決定する」
- ℓ. 20 ◇ implication *n.* 「含意；潜在的重要性」
- ℓ. 22 ◇ kitchenette *n.* 「簡易台所」
- ℓ. 26 ◇ elimination *n.* 「排除；除去」 *cf.* eliminate ～ *vt.* (～を取り除く)
- ℓ. 27 ◇ obesity *n.* 「肥満」
- ℓ. 28 ◇ fortify ～ *vt.* 「～を強化する」
- ℓ. 32 ◇ genetics *n.* 「遺伝学；遺伝的特徴」 *cf.* gene *n.* (遺伝子)
- ℓ. 35 ◇ breast feeding 「母乳を与えること；授乳」
- ℓ. 39 ◇ recline *vi.* 「もたれる；横になる」
- ℓ. 41 ◇ facilitate ～ *vt.* 「～を容易にする〔促進する〕」
- ℓ. 48 ◇ tellingly *adv.* 「効果的に；多くを物語って」
- ℓ. 51 ◇ stimulant *n.* 「刺激物；興奮剤」
- ℓ. 57 ◇ psyche *n.* 「精神；魂」
- ℓ. 58 ◇ cuisine *n.* 「料理法」
- ℓ. 59 ◇ antiquity *n.* 「古代；太古の昔」
- ℓ. 64 ◇ ritual *n.* 「儀式」
- ◇ feast *n.* 「祝宴；大宴会」
- ◇ infuse ～ *vt.* 「～を注ぎ込む〔吹き込む〕」
- ℓ. 67 ◇ assimilation *n.* 「同化；融合」
- ◇ migration *n.* 「移住」 *cf.* migrate *vi.* (移住する)
- ℓ. 70 ◇ at home in ～ 「～に慣れて〔精通して〕」
- ◇ melting pot 「るつぼ；人種・文化の混じり合った所」
- ℓ. 73 ◇ erode ～ *vt.* 「～を腐食させる〔侵食する〕」
- ℓ. 79 ◇ commercialization *n.* 「商業化」 *cf.* commercial *adj.* (商業の)
- ℓ. 83 ◇ import *n.* 「重要性」
- ℓ. 84 ◇ aura *n.* 「雰囲気；オーラ」
- ◇ merit ～ *vt.* 「～に値する」

**【配点】 60 点**

- (1) 12 点    (2) 8 点    (3) 8 点  
(4) 6 点    (5) 12 点    (6) 14 点

**【配点の目安】**

- (1) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ① At home or abroad colorful food markets are taken (4点)
- ② to represent something essential and real about culture and society that becomes masked or artificial in supermarkets (8点)
- essential and real ～ society と that becomes masked ～ supermarkets を something に対する後置修飾として解釈していないもの - 3点
- (2) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点

とし、区分を超えて減点はしない。

- ① The production of food is so fundamentally integrated with labor systems and property arrangements and so clearly tied to available technology (4点)  
and による並列を見抜けていないもの - 2点
- ② that diet is often taken to be a measure of economic development (4点)  
that ~ を「so ~ that 構文」の帰結として訳出していないもの - 3点
- (3) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ① Historians find in food's ties to economics, technology, commerce, and religion (4点)  
economics, technology, commerce, and religion の並列関係を捉えられていないもの - 3点
- ② particularly satisfying evidence of how ordinary, daily activities are related to larger historical trends (4点)  
「how ~ trends の証拠」という構造で訳せていないもの - 3点
- (5) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ①生態系の研究は、さまざまな研究分野間の連携だけでなく、国内外の研究機関の連携によっても遂行される (8点)  
not only ~, but also ... や ... as well as ~ など, 「~だけでなく...も」という表現が使用されていない - 3点
- ②地球規模の環境問題への対応を含めて (4点)
- (6) ①(食と食習慣に関する現在の歴史研究は)人間の行動と思考に関するあらゆる面にふれようとしている (4点)  
第4段落最終文の内容に言及がないもの - 2点
- ②研究の進め方にはさまざまなものがある (1点)
- ③個々の文化の食や食生活についての研究 (3点)
- ④特定の食と、それを食べる習慣的作法の分析 (3点)
- ⑤その変化を重要な社会的心理学的変化と関連させる研究 (3点)
- ①~⑤の観点から減点する。②~⑤は第5段落第1~3文に関する内容。

## 【2】

A.

### 解答

(1) c (2) b (3) a (4) d (5) c

### 解説

- (1) 冒頭に、A base could be established on the moon to make it possible for life to survive in the event of a catastrophe on Earth (月に基地を建設すれば、地球で大災害が起こった場合、生命が生き延びられる可能性がある)と述べられているし、その後も、人間を月に移住させる計画の話になっているので、正解はcしかない。survive, human

race [humans], extinction などの語が聞き取れただけでも推測ができるだろう。

- (2) 第1段落の最後に, One solution would be to set up a permanent lunar base where humans could survive and *repopulate Earth after an extinction event*. (解決策の1つは, 人類が生き延びられる恒久月面基地を建設し, 大量絶滅が起きた後に, 再び人類を地球に住ませる, というものである。)と述べられている。選択肢にある catastrophe(大惨事)は, extinction event (大量絶滅)のことを指している。
- (3) ℓ. 4 it's possible that an asteroid or comet could hit Earth in the next 400 years(400年以内に小惑星や彗星が地球に衝突する可能性がある)と述べられているから, **a**が正解。nuclear war (核戦争)については, the risk of a nuclear war is low (核戦争の危険性は低い)と述べられているから, **b**は誤り。
- (4) ℓ. 8に it might take five years to establish a permanent lunar base where a crew of ten people could live for one hundred days at a time. (10人の乗組員が一度に100日間生活できる恒久月面基地を建設するのに5年かかるかもしれない)とあるから, 「最初は」10人の人間が月に滞在できると考えられる。
- (5) ℓ. 7に the agency hopes to have the first manned mission to the Moon by 2020.(ESAは2020年までに最初の有人ロケットを月に送りたいと考えている)と述べられているから, **c**が正解。the agencyがEuropean Space Agencyのことだとわかるかどうかのポイントである。**b**がまぎらわしいかもしれないが, a Moon base (月面基地)を建てるというのは, Dr. Foing 個人の考え (his own proposal) であるから, 誤り。

**Script** |

A base could be established on the moon to make it possible for life to survive in the event of a catastrophe on Earth, according to Dr. Bernard Foing, the chief research scientist at the European Space Agency, or ESA. He said that while the risk of a nuclear war is low, it's possible that an asteroid or comet could hit Earth in the next 400 years and destroy the human race. One solution would be to set up a permanent lunar base where humans could survive and repopulate Earth after an extinction event.

While he stressed the idea was his own proposal and not an official ESA policy, the agency hopes to have the first manned mission to the Moon by 2020. Dr. Foing said that it might take five years to establish a permanent lunar base where a crew of ten people could live for one hundred days at a time. There we could learn to be independent of Earth by living off the Moon's resources by using solar energy and the minerals from the soil. Then a real community comprising hundreds of people of both sexes could be built on the moon.

Question 1 : Why does the research scientist think a base should be built on the Moon?

Question 2 : According to the research scientist, what could people living on the Moon do for Earth?

Question 3 : What did the research scientist say might happen within the next 400 years?

Question 4 : According to the research scientist, how many people could stay at a Moon base at first?

Question 5 : Which of these statements is true about the European Space Agency?

全訳

月に基地を建設すれば、地球で大災害が起こった場合、生命が生き延びられる可能性がある、とバーナード・フォーイング博士は述べている。フォーイング博士は欧州宇宙機関 (ESA) の主任研究員である。博士は、核戦争の危険性は低い、400 年以内に小惑星や彗星が地球に衝突し、人類が減る可能性があると言う。解決策の 1 つは、人類が生き延びられる恒久月面基地を建設し、大量絶滅が起きた後に、再び人類を地球に住まわせる、というものである。

このアイデアはあくまでも個人の考えであって、ESA の公式方針ではないと博士は言うが、ESA は 2020 年までに最初の有人ロケットを月に送りたいと考えている。フォーイング博士は、10 人の乗組員が一度に 100 日間生活できる恒久月面基地を建設するのに 5 年かかるかもしれない、と述べている。そこで我々は地球に頼らず、太陽エネルギーと月の地面から得られるミネラルを使って、月の資源を食べて生きられるようになる可能性がある。そうすれば、何百人もの男女から成る本当の社会が月に作られる。

(1) この科学者はなぜ月面に基地を造るべきだと考えているのですか。

- a 研究目的で
- b 軍事目的で
- c 絶滅を防ぐために
- d エネルギーを得る方法として

(2) この科学者によると、月に住む人たちは地球のために何ができますか。

- a 大変動が近づいていることを警告すること
- b 大変動の後にもう一度地球に住むこと
- c 地球にエネルギーを供給すること
- d 何もできない

(3) この科学者はこの 400 年以内に何が起こるかもしれないと言っていましたか。

- a 地球に宇宙からの物体が衝突する可能性がある。
- b たぶん核戦争が勃発する。
- c 地球はエネルギー源を使い果たす可能性がある。
- d 地球は人口過剰になる可能性がある。

(4) この科学者によると、最初は何人の人が月に滞在することができますか。

- a 2020 人
- b 何百人
- c 5 人
- d 10 人

(5) 次の記述のうち、欧州宇宙機関について正しいものはどれですか。

- a 月に行くことに興味がない。
- b 5 年以内に月面基地を建設する計画である。
- c 2020 年までに月に人を送りたいと思っている。
- d 月は地球にエネルギーを供給できる可能性があると考えている。

**注**

- ℓ.1 ◇ base 「基地」
  - ◇ establish = set up on a firm or permanent basis 「設置する」
  - ◇ survive 「生き残る」
  - ◇ in the event of ~ 「(万一) ~の場合には」
- ℓ.2 ◇ catastrophe 「突然の大変動；激変」
  - ◇ research scientist 「研究専門の科学者」
- ℓ.3 ◇ European Space Agency 「欧州宇宙機関」 1975 年にパリで発足した宇宙研究・開発を行う機関。
  - ◇ nuclear 「核の」
- ℓ.4 ◇ asteroid 「小惑星」 火星の軌道と木星の軌道との間およびその付近に散在する。
  - ◇ comet 「彗星」
- ℓ.5 ◇ human race 「人類」
  - ◇ solution 「解決策」 < solve *v.*
  - ◇ permanent 「恒久的な；永久の」 ⇔ temporary
  - ◇ lunar 「月の；月面用の」 *cf.* solar < sun
- ℓ.6 ◇ repopulate 「再び～に住む」 *cf.* populate = cause people to settle in
  - ◇ extinction 「絶滅；死滅」 < extinct *adj.*
- ℓ.7 ◇ stress = emphasize 「～ということを強調する，力説する」
  - ◇ proposal 「提案；計画」 < propose *v.*
  - ◇ official 「公式の；公認の」
- ℓ.8 ◇ manned 「人間を乗せた；有人の」
  - ◇ mission = a scientific or military expedition
- ℓ.9 ◇ crew = a group of people who work on a ship, aircraft, or train ; a group of people who work together 「乗組員；一団」
- ℓ.10 ◇ be independent of ~ 「～から独立している」 ⇔ be dependent on ~
- ℓ.11 ◇ live off = eat as a major part of one's diet 「～を食べて生きる」。live on なら「～のみを食べて生きている」という意味になり，live off とは異なる。
  - cf.* Japanese people's staple [principal] food is rice. (日本人の主食は米である)
  - × Japanese people live on rice.

- ◇ resources 「資源；物資」
- ◇ solar 「太陽の」
- ◇ mineral 「ミネラル；無機物」
- ◇ soil 「土；土地」

ℓ. 12 ◇ comprise = be made up of

【配点】 10 点（各 2 点）

B.

**解答例**

- (1) It will be given an award for helping to save a farmer's life.
- (2) He was knocked unconscious by a falling tree branch during a storm.
- (3) She [It] was killed by a car.

**解説**

- (1) It will be given an award for helping to save a farmer's life.  
(農場主の命を救うのを手伝ったことに対して賞が与えられる。)  
冒頭に, Lulu, a pet kangaroo that helped save the life of a farmer, is to be honored with ~ (農家の主人の命を救ったペットのカンガルー, ルルに~が贈られる) と説明されている。
- (2) He was knocked unconscious by a falling tree branch during a storm.  
(嵐の時に落ちてきた木の枝に当たって意識を失った。)  
ℓ. 4 に, he was knocked unconscious by a falling tree branch during a storm. (彼は嵐の時に落ちてきた木の枝に当たって意識を失った) と述べられている。
- (3) She [It] was killed by a car. (車にひかれて死んだ。)  
最後に, they found her in the pouch of her mother, who'd been killed by a car. (彼らは, ルルが車にひかれて死んだ母親の袋にいるのを見つけた) と説明されている。

**Script**

Lulu, a pet kangaroo that helped save the life of a farmer, is to be honored with one of the Royal Society for the Prevention of Cruelty to Animals' highest awards for animal bravery, the National Animal Valor Award. Farmer Len Smith may owe his life to his kangaroo, which alerted the family after he was knocked unconscious by a falling tree  
5 branch during a storm.

Lulu came to his rescue by making a barking noise to attract the attention of Smith's wife Lynn. She went looking for her husband with a nephew and found him lying unconscious in a field.

In comments to Australian Broadcasting radio Wednesday, Smith says it seems Lulu

10 also applied some first aid. “My nephew said she’d actually tipped me on my side and vomit was coming out of my mouth so she’d actually saved me from choking,” he said.

Lulu’s actions resemble those of another resourceful kangaroo, Skippy, who was the hero of a 1960s Australian children’s television series of the same name.

Lulu is a western gray, one of five main types of kangaroo in Australia. The family  
15 adopted her ten years ago when they found her in the pouch of her mother, who’d been killed by a car.

#### 全訳

農家の主人の命を救ったペットのカンガルー、ルルに王立動物虐待防止協会から、動物の勇敢な行動をたたえる最高の賞の1つ、国民勇敢動物賞が贈られる。農場主レン・スミスの命の恩人は、ペットのカンガルーかもしれない。そのカンガルーは、彼が嵐の時に落ちてきた木の枝に当たって意識を失ったことを家族に知らせた。

ルルは、スミスの妻リンの注意を引くために吠えるような声を出して、彼を助けた。リンは甥と一緒に夫を捜しに出かけて、夫が畑で意識を失って倒れているのを見つけた。

スミスは水曜日、オーストラリア放送のラジオに対し、ルルは応急処置もしてくれたようだと語った。「甥が言うには、ルルが実際に私を横に向けたら、嘔吐物が口から出ていたそうですから、私が窒息しそうになるのを本当に防いでくれたんです」

ルルの行動は、スキッピーという機転が利くカンガルーの行動に似ている。スキッピーとは、1960年代にオーストラリアで放送された同名の子ども番組の主人公である。

ルルは、オーストラリアに多い5種類のカンガルーのうちの1つ、ウェスタン・グレイという種である。スミス家は10年前に、ルルが車にひかれて死んだ母親の袋にいたのを見つけて引き取った。

- (1) なぜカンガルーは賞を与えられるのですか。
- (2) 農場主はどのようなけがをしましたか。
- (3) ルルの母親に何が起こりましたか。

#### 注

- ℓ. 1 ◇ kangaroo [kæŋɡəːruː] 「カンガルー」 ※発音に注意。
  - ◇ farmer = a person who owns or manages a farm 「農場主；農業経営者」
- ℓ. 2 ◇ royal [ˈrɔɪəl] 「王立の」 cf. loyal [ˈlɔɪəl] 「忠実な」
  - ※ royal は「王様でアール」と覚えるとよい。
  - ◇ society 「協会；団体」
  - ◇ prevention 「防止；予防」 < prevent *v.*
  - ◇ cruelty 「残虐な行為」 < cruel *adj.* = taking pleasure in the suffering of others
  - ◇ award [əˈwɔːrd] 「賞」

- ℓ. 3 ◇ bravery 「勇敢」 < brave *adj.*  
 ◇ valor [væləɹ] 「勇気」
- ℓ. 4 ◇ alert = warn of a danger or problem  
 ◇ unconscious 「意識を失った」 ⇔ conscious
- ℓ. 5 ◇ branch 「枝」
- ℓ. 6 ◇ come to one's rescue 「人を救出に来る；援助する」  
 ◇ bark 「吠える；吠えるような音を出す」  
 ◇ attract 「～を引きつける」  
 ◇ attention 「注意」
- ℓ. 9 ◇ comment [kámment] 「説明；解説」  
 ◇ Australian Broadcasting radio 「オーストラリア放送のラジオ放送」
- ℓ. 10 ◇ apply first aid 「応急処置を施す」  
 ◇ tip 「～を傾ける；ひっくり返す」  
 ◇ vomit [vámət] 「嘔吐物；嘔吐」
- ℓ. 11 ◇ choke [tʃók] 「窒息する」
- ℓ. 12 ◇ resemble 「～に似ている」  
 ◇ resourceful = able to find quick and clever ways to overcome difficulties 「機転が利く」
- ℓ. 15 ◇ adopt 「引き取る；養子にする」  
 ◇ pouch [páut] 「(有袋類の) 袋」

【配点】 10 点

- (1) 4 点      (2) 3 点      (3) 3 点

【配点の目安】

- (1) ～ (3) とともに、単語レベルのミス・脱落は 1 件につき 1 点減点とする。
- (1) 農家の主人の命を救った〔救うのを助けた〕(4 点)
- (2) ①嵐の時に落ちてきた木の枝に当たって (1 点)  
 ②意識を失った (2 点)
- (3) 車にひかれて死んだ (3 点)

【3】

解答例

Although it is important to improve the environment, I do not think that prohibiting the use of cars in urban areas makes sense. Expanding public transportation systems might reduce some car traffic, but cars offer a degree of flexibility that cannot be matched by bus, train or subway lines. It is true we need to pay more attention to our environment, but that does not always mean that we have to sacrifice convenience. For example, we can use electrified vehicles that emit fewer pollutants. If such cars become more and more popular in urban districts, they will be a great help for us both in preserving the environment and keeping our daily life convenient. It would be more

useful for us to concentrate our efforts on developing clean energy systems that will reduce the pollution currently caused by cars. (139 words)

**【配点】** 20 点

**【配点の目安】**

①内容・構成（7 点）

賛成・反対の立場が明示されていないもの - 2 点

「車の利用禁止」を大きく逸脱した内容 - 2 点

同じ内容の繰り返し - 2 点

②語彙・文法（13 点）

単語の綴りの誤り 各 - 1 点

文法・語法の誤り 各 - 2 点



会員番号

氏 名